

Primo機関の設定

Note

Primo VEを使用している場合、詳細については「[Primo VE](#)」を参照してください。

[メニューに戻る](#)

PrimoをAlmaと組み合わせて使用するには、以下で説明するように、PrimoバックオフィスでPrimo機関を設定する必要があります。

Primo機関を設定するには：

1. Primoバックオフィスで、**[Primoホーム]** > **[継続的な設定ウィザード]** > **[機関ウィザード]**を選択します。
2. 機関について、Alma機関のためにPrimo機関を作成していない場合、機関の情報を入力し、**[新機関の作成]**で**[作成]**を選択します。作成している場合は、次の手順に進みます。
3. **[編集のための機関の選択]**セクションで、Almaに使用する機関の横にある**[編集]**を選択します。

[機関の編集]ページが開きます。

4. **[機関の一般的属性]**セクションで、次のフィールドを入力します。
 - **Alma機関コード** – Almaで定義された機関コードを入力します。
 - **SFX機関** – 空欄のままにします。
 - **ソースILS機関コード** – Almaで定義された機関コードを入力します。
 - **Almaキャンパスコード** – キャンパスレベルでPrimo機関を定義する場合、Almaで定義されるAlma目録ネットワークグループを入力します。それ以外の場合、このフィールドは空欄のままにします。

その他のフィールドについては、「[Primo機関と図書館の設定](#)」を参照してください。

General Institution Attributes for:			
Institution Code:	01C_INST	Primo Institution Name	College
MetaLib Institution Code:	VLAND	MetaLib Portal Code:	VLAND
MetaLib User Name:	VLAND	MetaLib password:	••••
Alma Institution Code:	01C_INST		
SFX Institute:		bX Token:	<input type="text"/> Register
Source ILS institution Codes:	01C_INST	Hot Articles Token:	primo-generic Register
PDS Configuration	Alma qa08	PC Key:	01C.CL.PSTG My Profile
Description:	College	Customer ID:	d3f4d10c78dc1e2

機関の一般的属性(機関ウィザード)

5. [基本配信URL]セクションで、次のフィールドを入力します。

パラ メー タ	詳細
Alma	<p>AlmaのリンクリゾルバのURLを入力します(詳細については、「ご使用のAlmaドメイン」を参照してください)。次のフォーマットを使用します。</p> <pre>https://<Alma delivery domain>/view/uresolver/<Alma_institution_code>/openurl</pre> <p>たとえば：</p> <pre>https://university.userservices.alma.exlibrisgroup.com/view/uresolver/01UNI_INST/openurl</pre> <p>APACのサイトは、高速化された<Alma delivery domain>を使用する必要があります。たとえば：</p> <pre>https://university-a.userservices.alma.exlibrisgroup.com/view/uresolver/01UNI_INST/openurl</pre> <p>Primo機関をキャンパスレベルで定義している場合は、キャンパスコードを含めます。次のフォーマットを使用します。</p> <pre>https://<Alma delivery domain>/view/uresolver/<Alma_institution_code>/openurl-<Alma_campus_code></pre> <p>たとえば：</p> <pre>https://university.userservices.alma.exlibrisgroup.com/view/uresolver/01UNI_INST/openurl-NORTH</pre>
Alma サー ビス ペー ジ URL	<p>サービスページビューの基本URLを入力します。詳細については、「サービスページの基本URL」を参照してください。現在、このフィールドは、bX Hot Articlesサービス(PrimoのクラシックUI)およびbXによる推奨サービス(Primoの新しいUI)に使用されています。bXサービスの詳細については、「bX Hot Articles」および「bXによる推奨」を参照してください。次のフォーマットを使用します。</p> <pre>http://<primo server host:port>/openurl/<Primo_Inst_Code>/<Primo_Services_Page_View_Code>?</pre> <hr/> <p>Note</p> <p>PrimoのクラシックUIから新しいUIに切り替えるには、[新しいUIを有効にする]チェックボックスを選択し、[表示の選択]ドロップダウンリストから新しいUIに使用するビューを指定する必要があります。</p> <hr/> <p>Primoの新しいUIに直接接続するPrimoの新規インストールの場合、次のフォーマットを使用します。</p> <pre>http://<primo server host:port>/primo-explore/openurl?institution=<Primo_Inst_Code>&vid=<Primo_View_Code></pre> <hr/> <p>Note</p> <p>Primoの新しいUIの場合、サービスページ用に個別のビューを作成する必要はなくなりました。</p> <hr/>
RTA	<p>Primoにリアルタイムの利用可否ステータスを提供するURLを入力します。次のフォーマットを使用します。</p> <pre>https://<Alma domain>/view/publish_avail</pre> <p>APACのサイトは、高速化されたAlmaドメインの代わりに<Alma alternate domain>を使用する必要があります。詳細については、「ご使用のAlmaドメイン」を参照してください。</p>

パラメータ	詳細
API	<p>次を実行するAlma APIのURLを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> マイライブラリカードの機能に必要なユーザー情報を返します。 MetaLibを使用したりリモート検索によって返されたレコードに対して、Alma RSI APIを使用してフルテキストの利用可否表示を返します。 <p>フォーマットhttps://<Alma domain>を使用します。URLは、「ILS API設定マッピングテーブル」で事前に定義されている必要があります。</p> <p>APACのサイトは、高速化されたAlmaドメインの代わりに<Alma alternate domain>を使用する必要があります。詳細については、「ご使用のAlmaドメイン」を参照してください。</p>
PCキー	<p>CDIの登録時に受領するCDIキーを指定します。詳細については、CDIのドキュメントとトレーニングを参照してください。</p>
コレクション	<p>コレクションディスカバリーインターフェイスを使用している場合、このフィールドをAPI基本URLと同じ値に設定します。コレクションディスカバリーの詳細については、「Almaコレクションディスカバリーの設定」を参照してください。</p> <p>コレクションAPIリクエストは1時間に1回送信され、メモリにキャッシュされます。(「コレクション」フィールドの横に表示される)[コレクションAPIレスポンスの更新]ボタンは、必要に応じて手動でAPIレスポンスを更新することができます。</p>
DBカテゴリ	<p>データベースリポジトリの基本URL。データベースカテゴリでデータベース検索インターフェイスを使用しているAlmaのお客様の場合、このフィールドはAPIフィールドと同じ値に設定する必要があります。詳細については、「データベース検索インターフェイスの設定」を参照してください。</p>

Delivery Base URLs:

MetaLib	<input type="text"/>
SFX	<input type="text"/>
ILS	<input type="text"/>
Alma	<input type="text" value="https://university.userservices.exlibrisgroup.com/view/uresolver/01UNI_INST/openurl"/>
Alma Services Page URL	<input type="text" value="https://university.primo.exlibrisgroup.edu/openurl/01UNI/serv-pg?"/>
Digital Repository	<input type="text"/>
Digital Repository 2	<input type="text"/>
Digital Repository 3	<input type="text"/>
RTA	<input type="text" value="https://university.alma.exlibrisgroup.com"/>
API	<input type="text" value="https://university.alma.exlibrisgroup.com"/>
EZproxy	<input type="text"/>

基本配信URL(機関ウィザード)

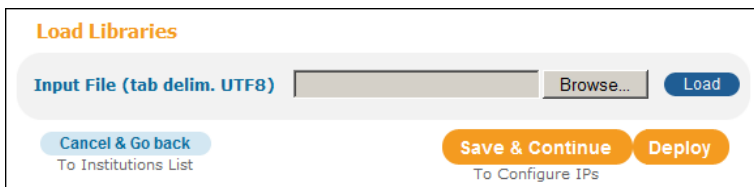
Almaと統合する際、SFXの基本URLフィールドは空欄のままにしておく必要があります。それ以外の場合、システムはPrimoがSFXリンクリゾルバを使用していると想定します。

- Primoの新しいUIに切り替え、bXによる推奨を受領することを希望する場合、[新しいUIを有効にする]フィールドを設定し、[AlmaサービスページURL]フィールドに入力する必要があります。詳細については、「[bXによる推奨](#)」を参照してください。
- Almaで使用される図書館の名前を取得します。詳細については、「[Almaでの図書館の表示とエクスポート](#)」を参照

してください。

8. [図書館]セクションでは、[機関の編集]ページの次のセクションのいずれかを使用して、Alma関連図書館を定義します。

- 。 図書館のロード – Almaから図書館をエクスポートするために使用するファイルの名前を入力します。詳細については、「[図書館のロード](#)」を参照してください。



[図書館のロード]セクション(機関ウィザード)

- 。 新規図書館の作成 – このセクションでは、AlmaからPrimoに個々のコードをマッピングすることができます。次のフィールドに入力します。
 - **Primo図書館コード** – Primoで使用される図書館のコードを入力します。
 - **Primo図書館名** – Primoで使用される図書館の名前を入力します。
 - **ソースILS図書館コード** – PrimoにマッピングしているAlma図書館コードを入力します。

Note

一般的ルールとして、Primo図書館コードは、Almaで使用されるコードと同一にすることができます。



[新規図書館の作成]セクション(機関ウィザード)

9. [保存して続行]を選択します。

[IPの編集]ページが開きます。

Primo Back Office

[Primo Home](#) > [Ongoing Configuration Wizards](#) > **Institution Wizard**

> **Edit IPs**

Institution :

Edit IPs for "VI University"

IP Range	Created	Last Updated
<p>Create a New IP Range:</p> <p>Start IP: <input type="text"/> End IP: <input type="text"/> <input type="button" value="Create"/></p>		
<p>Load IPs</p> <p>Input File (tab delim. UTF8) <input type="text"/> <input type="button" value="Browse..."/> <input type="button" value="Load"/></p>		

To Institution Edit

[IPの編集]ページ

- [IPの編集]ページで、[新しいIPレンジの作成]セクションか[IPのロード]セクションを使用して、機関のIPアドレスを設定します。詳細については、「[IPのロード](#)」を参照してください。
- フロントエンドに変更を配置します。

AlmaとPrimoの統合 [に関するトレーニングセッションの詳細については](#)、「AlmaとPrimoの統合の概要（3分）」を参照してください。